

吉備中央町内のPFOS・PFOA事案に係る調査結果について

吉備中央町内のPFOS・PFOA事案に関し、各種調査を行いました。その結果は次のとおりでした。

1 資材置場の表層土壌調査（溶出試験）

(1) 調査期間 令和5年11月16日(木)～20日(月)

(2) 調査結果

検体No	結果 ^{※1}	備考
置場1	360ng/L	置場内北東部 ※2 試料番号 No.10 (330ng/L) 付近
置場2	62ng/L	
置場3	110ng/L	置場内北西部
置場4	10,000ng/L	置場内南東部
置場5	160,000ng/L	置場内南部 ※2 試料番号 No.27 (4,500,000ng/L) 付近
置場6	21,000ng/L	
置場7	39,000ng/L	
置場8	750,000ng/L	
置場9	740,000ng/L	

※1 土壌については、PFOS・PFOAに関する指針値等は定められていない。

※2 令和5年11月22日の報道発表資料における1(2)分析結果の試料番号

2 資材置場周辺の表層土壌調査（溶出試験）

9地点（西側、北側及び東側の各3地点）で調査した結果、15～47ng/Lであった。

3 公共用水域等の継続モニタリング

(1) 調査日 令和5年12月11日(月)

(2) 調査結果

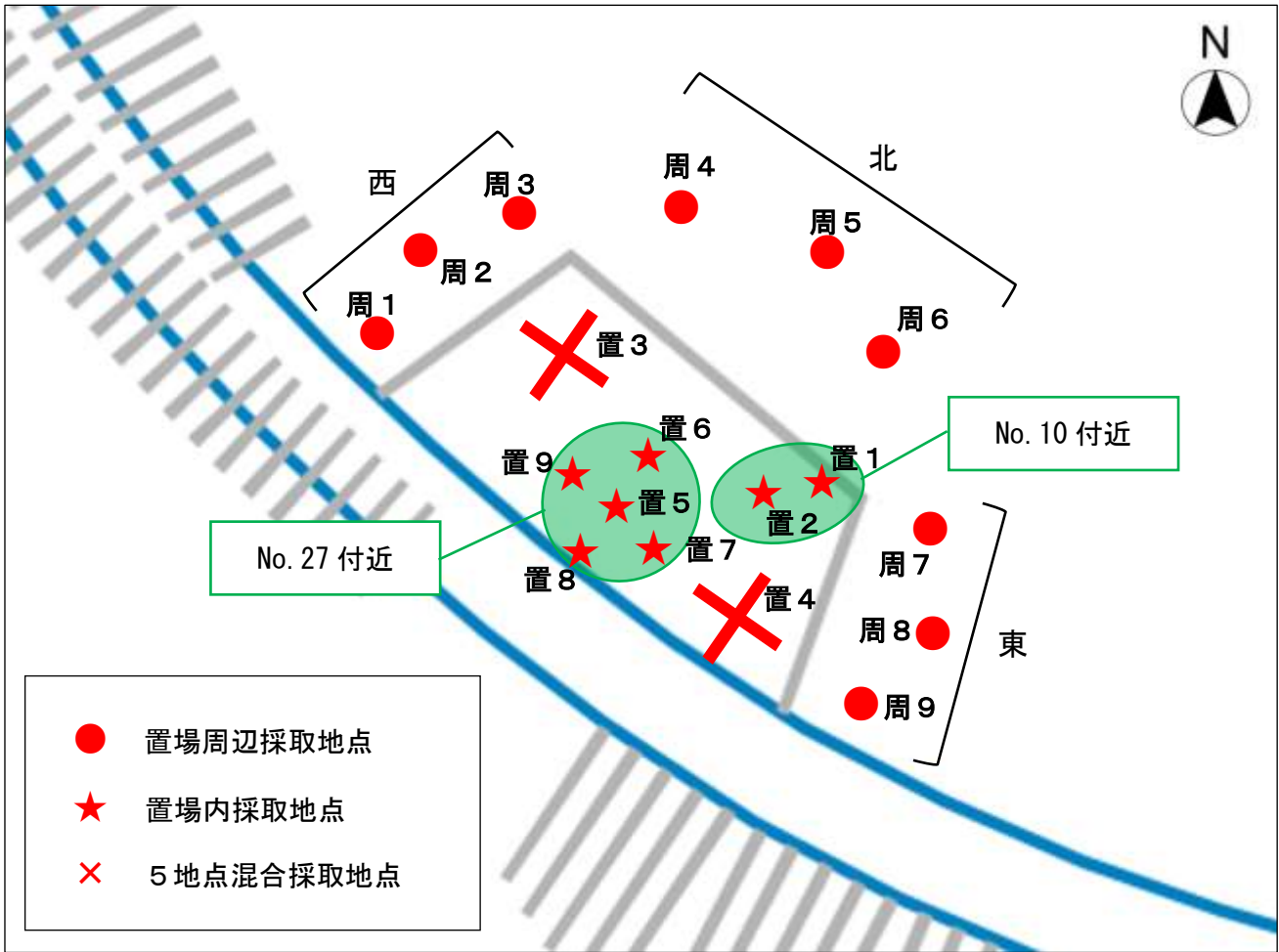
調査地点	結果	参考(10月)
西側沢B2	3,100ng/L	4,600ng/L
河平ダム	1,100ng/L	1,100ng/L
山王橋	470ng/L	460ng/L
大下橋	13ng/L	15ng/L

※ 公共用水域等の要監視項目として、指針値（暫定）50ng/L以下（PFOSとPFOAの合計値）が設定されている。

4 今後の対応

- ・ 吉備中央町が設置する専門家による原因究明委員会（12月25日開催予定）に調査結果を報告し、専門家の意見も踏まえながら、町と協力して原因究明に取り組む。
- ・ 公共用水域等のモニタリングを継続する。（次回は、令和6年2月の予定）

表層土壤調査結果



資材置場	
採取地点	溶出量(ng/L)
置場 1	360
置場 2	62
置場 3	110
置場 4	10,000
置場 5	160,000
置場 6	21,000
置場 7	39,000
置場 8	750,000
置場 9	740,000

資材置場周辺	
採取地点	溶出量(ng/L)
周辺 1	17
周辺 2	15
周辺 3	20
周辺 4	47
周辺 5	25
周辺 6	24
周辺 7	21
周辺 8	30
周辺 9	27

公共用水域等の継続モニタリング地点及び結果

